

国語科学習指導案

広島市立〇〇小学校 教諭 〇〇 〇〇

1 日 時 平成21年9月〇日

2 学年・組 第2学年〇組

3 指導事項

- (1) C 読むこと (1)ア
 - ・ 易しい読み物に興味を持ち、読むこと。
- (2) 言語事項 (1)イ(ア), (ウ)
 - ・ 平仮名、片仮名及び既習の漢字を読むこと。

4 単元名 おもしろいお話をたくさん読もう 『名前を見てちょうだい』

5 言語活動

- ・ お話の「ひみつ」を見つけ、本の紹介をすること。

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○ いろいろな本を楽しんで読み、感想を進んで紹介しようとしている。	○ 様子や気持ちを想像しながらお話を読み、おもしろさを味わっている。	○ 平仮名、片仮名及び既習の漢字を読んでいる。

7 単元について

- 児童の状況
 - ・ **読書**：毎朝の読書タイムで、読書を楽しむ様子うかがえるものの、読み取った内容ではなく、挿絵で楽しむ児童が見られる。教師による読み聞かせについては、どの児童も関心を持ってよく聞いており、読み聞かせや本の紹介の後には、自ら手にとって読書する児童の姿も多く見られる。
 - ・ **様子や気持ちを想像すること**：文学教材『雨の日のおさんぽ』では、人物の言動を抜き出し、気持ちを想像した。文章に書いてあることを根拠に挙げながら、場面の様子や人物の気持ちを想像することができる児童が増えてきた。
 - ・ **話のおもしろさを味わうこと**：文章の音やリズムの楽しさ、人物の言動のおもしろさなどに気づく児童は多い。しかし、文章の展開や主題に関わるおもしろさを感じる児童は少ない。文学教材『ニャーゴ』では、話の展開を考えながら読んだり、中心人物の気持ちが変化する場面や心情の変化の理由を話し合うことにより、主題を考えたりすることができた。
 - ・ **文字を正しく読むこと**：読書の際や音読の際に抵抗がなく文字を読むことができる児童がほとんどである。しかし、漢字を読むことが難しく、平仮名や片仮名もたどり読みしかできない児童もいる。
- 教材等の価値
 - ・ **教材文の価値**：本教材は、えっちゃんが母親から贈られた帽子を自分の物だと主張する話である。いろいろな登場人物が理不尽な主張をしても、母親がしてくれた名前が自信となり、毅然と立ち向かうことができたのである。児童は、そんなえっちゃんに声援を送ったり、同化したりしながら読むことができる。えっちゃんが、どの場面でも、登場する人物に同じように立ち向かう繰り返しの文章構成になっており、場面の変化がわかりやすい。また、場面ごとの人物の行動や会話をとらえやすく、えっちゃんの心情の変化もはっきりしている。心情の変化の理由を考えることで、えっちゃんの勇気に感心したり、母親

の愛情を感じたりしながら児童自身と重ねて感想を持つことができる。

- ・ **言語活動の価値**：お話のおもしろさや感動をお話の「ひみつ」とし、これを見つけ、本の紹介をするという活動は、児童にとって学習の目的が明確となり、意欲的に学習に取り組むことができる。

○ 指導の工夫

- ・ **「読む」意欲を高め、「読み」を深める工夫**：お話を読んでみんなで考えたことや感動したことなどを、一人一人の感想とともにワークシート「お話のひみつ」に書き、読書の記録として学習の成果を残すようにしたい。お話の「ひみつ」をおうちの人や友達に紹介するという目標を持たせることで、相手意識を持って学習することができ、また、紹介された本を読んでみようという「読む」意欲を高め、「読み」を深めることができるようにする。
また、読むことの学習のはじめに課題を設定する「問いづくり」をし、その「問い」を解決するためにみんなで話し合う、という学習を繰り返してきた。みんなで読み、話し合うことで、文章の内容を理解でき、「読み」を深めることができる。
- ・ **出来事の順序に気をつけて読む工夫**：教材文『名前を見てちょうだい』の特徴と同じような、場面の変化や人物の登場する順が繰り返になっている文章構成の図書を多く用意し、『名前を見てちょうだい』の読み取りの前後に、読み聞かせたり、読書させたりする。こうすることで、お話の順序や場面の展開を意識できるようにする。
- ・ **お話のおもしろさや感動を感じる工夫**：場面の様子や人物の気持ちを想像して読む場を設定し、人物の心情の変化やその理由を考えることにより、お話のおもしろさや感動を感じられるようにする。
- ・ **ペアやグループで話し合う場の設定**：全体の場で一人一人の児童が話せる機会は限られるので、ペアやグループで話をすることで個人の表現する場を確保したい。また、小集団で聞き合うことで考えがまとまったり深まったりし、自信を持って全体の場で話す意欲を持つことができると考える。グループで多様な考えが出る中で、意見を比較したり、まとめたりする力も少しずつ身につけることもできる。
- ・ **自分の経験と結び付けて感想を交流する場の設定**：お話の感想を書く際には、「自分だったら」「自分も」というような書き出しを与え、人物と自分を比較することで、一人一人の思いを書きやすくさせたい。お話によって自分の生き方や考え方に幅が広がることをこの年齢なりに感じ、読書の意義を考えるきっかけになる学習にしたい。また、みんなに自分の感じ方を伝えることで、自分や他人を意識し、いろいろな感じ方があることに触れ、読書の楽しさを広げることができると考える。
- ・ **様々なお話を読む場の設定**：教材文を学習するだけでなく、様々なお話を読む時間を多く設けたい。単元の終わりに自分で本を読んで紹介し合う場を設定するだけでなく、教材以外のお話（グリム著『ブレーメンのおんがくたい』、あまんきみこ著『きつねのおきやくさま』）をみんなで読み、お話の「ひみつ」を見つけるために、どのように読めばよいか学習する場も設定する。その際、教材文の学習課題が設定された後に教材以外のお話を読む学習をはさみ、その後に教材文のお話の「ひみつ」を見つけるという単元の構成をとりたい。教材を読む際に、他のお話の読みの方法が活用でき、また、今後の読書の活動にも根付きやすいと考える。

8 単元の学習と評価の計画 (全18時間)

次	時	学習活動 (評価方法)	評価の観点		
			国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
一	1	これまでの読書活動やお話を読んだことを思い出し、「お話のひみつ」を書いて感想を交流する学習計画を立てる。(発言) ・『名前を見てちょうだい』を読んで、初発の感想を書き、「問いづくり」をする。(ノート)	○	○	
	2				
	3				
	4	・挿絵をもとに、登場人物や場面の確認をする。(発言) ・「問い作り」をして学習課題を明確にする。(発言, ワークシート) ・新出漢字の学習をする。(ノート)			○
二	5	教師が用意したお話や本の読み聞かせを聞き(グリム著『ブレーメンのおんがくたい』, あまんきみこ著『きつねのおきやくさま』), 話のおもしろさや感想を「お話のひみつ」に書いて交流する。(発言・ワークシート) ・場面の展開や人物の気持ちの変化からお話のおもしろさを考える。(ワークシート) ・「お話のひみつ」を書いて紹介し合う。(ワークシート・行動観察)		○	
	6				
	7				
三	8	『名前を見てちょうだい』を読み, 話のおもしろさや感想を「お話のひみつ」に書いて交流する。(発言・ワークシート) ・中心人物の性格や状況を読み取る。(発言, ワークシート) ・難解語句について学習し, 場面の展開やあらすじをとらえる。(発言, ワークシート) ・「問い」の答えを考えながら, 場面の様子や人物の言動をとらえる。(発言・ノート)		○	○
	11				
	12	・中心人物の気持ちの変化を話し合い, 感想を「お話のひみつ」に書いて交流する。 〈本時〉 (発言, ワークシート)		○	
四	13	教師が用意した図書を参考に, いろいろなお話や本を選び, 楽しんで読む。「お話のひみつ」を書いて交流する。(行動・ワークシート)	○	○	
	18				

9 本時の目標（読む力 三次 12時）

- えっちゃんの心情の変化を考えることにより、お話のおもしろさを感じることができる。

10 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意点	評価・評価方法
<p>1 本時の課題を確認する。</p> <p>2 中心人物の気持ちが大きく変化した場面の変化の様子を確認する。 「五場面でえっちゃんの体が大きくなって、大男が小さくなったからえっちゃんが強くなったと思います。」 「おこっていると書いてあるからこれまでのえっちゃんと気持ちがぜんぜん違います。」 「えっちゃんは、ぐわあと大きくなったと書いてあるので、気持ちがだんより強くなって、体まで大きくなるほどだったんだと思います。」</p> <p>3 中心人物が変化したわけを考える。</p>	<p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">お話の「ひみつ」を見つけることができる。</p> <p>○前時までに文章の中から気持ちがわかる言葉を見つけ、気持ちを想像したことを想起させる。 ○根拠を明らかにして、自分の想像したことを表現させる。 ○変化の様子がわかる表現を、人物の様子を意識するために声に出して読んだり、動作化したりする。</p>	
<p>なぜ、えっちゃんは変化した（大男から逃げずに立ち向かった）のだろう。</p>		
<p>「自分の名前が消えたら、許せないからです。」「ずっとがまんしていた気持ちが爆発したと思います。」「お母さんがくれた帽子は絶対になくしたくないからだと思います。」「ちゃんと見ずに食べられたら、相手がだんでも怒るに決まっています。」</p> <p>4 感想を交流する。 「自分だったら、だんがいたら逃げてしまいます。でも、えっちゃんが逃げなかったのは、ぼうしがげたい自分の物だという自信があったのだと思います。」 「自分も、えっちゃんみたいにだんに怒ると思います。理由は、お母さんにもらった大事な帽子を食べられたら、許せないからです。」 「自分だったらぼうしをあきらめます。でも、これから自分はえっちゃんみたいに言いたいことははっきり言えるようになります。」 「自分と比べてえっちゃんは勇気を出してすごいです。自分も勇気を出したいです。」 (信念、正義感、自信、愛情、勇気、物を大切にする)</p>	<p>○ペアで交流して、考えを深めさせる。 ○それぞれの考えを聞いて、自分の考えと比較したり、いろいろな感じ方があることに気付いたりできるようにさせる。</p> <p>○「お話のひみつ」に感想を書く。 ○グループで交流し、それぞれの考えを聞き合う場を持たせる。 C：「じぶんだったら～、じぶんも～」という書き出しで、人物の気持ちを考えやすくし、自分の体験や思いと比較しながら考えることができるようにする。 ○お話を読んでわかったこと、感じたことを、短くわかりやすい言葉でまとめる。</p>	<p>A：人物の心情変化について感想を持ち、お話のおもしろさを感じている。 B：これまでの学習をふまえて感想を持ち、お話のおもしろさを感じている。 (発言・ワークシート)</p>
<p>5 次時の学習について知る。</p>	<p>○いろいろなお話を自分で読み、「お話のひみつ」を書くことを知る。</p>	